

新年夢号

# 桜台だより

今年も明るく住み良い安全な街を目指して

# 猪突 猛进

## 目次

- 1 会長をはじめ常務役員の年賀の挨拶・・・1～3
- 2 常務役員の皆さんの「わたしの夢」・・・3～7
- 3 専門部の第3四半期活動状況・・・7～9
- 4 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・10



NO.4 2007年1月発行/桜台自治会 広報部

## ( 1 ) 年賀のご挨拶

新年を迎えるに当たり、常務役員の皆様から、桜台の皆様へ、年賀のご挨拶をいただきましたので、以下の通りご紹介します。

### 藤原 会長

**桜台の皆さん、明けましておめでとうございます。**

昨年中は、自治会活動にご理解頂き、ご協力有難うございました。お陰様で11月に開催した25周年記念行事も、大勢の参加で、住民相互の交流の輪が一層広まったと嬉しく思っております。

新しい年を迎え、今年も平穏な桜台団地であるように祈っております。

さて、当団地も四半世紀が経過し、少子高齢化が進んでいます。先日発行の記念特集号にも書きましたが、これからも住民相互のコミュニケーションの場を増やし、お互いが顔見知りになって、次世代を担う子供達の育成や高齢化社会への対応等、地域での助け合いの文化を作っていくことが必要と考えています。折りしも‘07年度から「団塊の世代」のサラリーマン層が、一斉に定年を迎えます。桜台でも年齢別では、50代後半から60代前半の人達が一番多く、今後これらの人達が大量地域に戻ってくるが見込まれます。

私は、こんな時こそ彼等の持つ能力や経験を貸して頂き、地域の助け合いの文化を創設していく、絶好の機会ではないかと思えます。そして桜台が住み良い魅力ある街として、将来共に繁栄していくことを願って年頭の挨拶とします。

### 笹野 副会長（総務担当）

**新年明けましておめでとうございます。**

**お健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。**

旧年中は皆様方のひとかたならぬご協力と積極的な参加により、夏祭り、総合防災訓練、市民体育祭そして自治会創立25周年フェスティバルなどの自治会活動は勿論、婦人会、長寿会、各種同好会そしてパトロール隊や個人的なボランティア活動なども活発に行われました。そこには、特別に意識することも力むことも無く、ごく自然に人々が集い楽しい人の輪が出来ました。これこそ“自分たちの街は自分たちで造ろう”とする人々の地域力ではないでしょうか。

新しい年の初めは、誰もが胸ときめくものです。今年、この地域力はどのように進化していくのでしょうか・・・ゆっくりと考えてみましょう。

新しい年を迎えるにあたり皆様のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

### **武石 副会長（企画担当）**

**2007年、平成19年度の輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。**

桜台の皆様におかれましては、昨年度の自治会活動にご尽力を賜りまことにありがとうございました。おかげさまで桜台の人の和も一段と広がりつつあり、本年度も、理事さん、班長さんを中心に楽しい一年にしたいと思います。

今年も昨年同様によろしくお願い申し上げます。

### **小島 副会長（会計担当）**

**新年おめでとうございます。**

今年が皆様にとって最良の年でありますよう祈念します。

本年も楽しく元気でいこうと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

### **青木 副会長（防災担当）**

**新年おめでとうございます。**

今年の干支は丁亥（ひのとい）の年で、この年は物事がすべて盛んになる年といわれています。自治会行事をはじめ各専門部の活動、ボランティア活動、長寿会、婦人会、各種サークルなどに積極的に参画し、みんなで盛り上げてもっともっと人の輪をひろげ、住みよい街にしましょう。

昨年は、桜台自治会も創立25周年を迎え「ふれあいの集い」、桜台の四半世紀の動向がよくわかる「桜台だより」記念特集号の発行、憩いのベンチの設置、そして年末には防災部の2年間に亘る取組みによる「桜台自治会防災マニュアル」の全戸配布など、節目の25周年に相応しい年であったと思います。

今年も、桜台の5年後、10年後の姿に目を向け、住みよい街づくりの原点は住民相互のコミュニケーション、人と人のつながりとの認識のもと、次の節目に向けてスタートの年にしたいと思います。

### **東城 地区長（1丁目）**

**明けましておめでとうございます。**

旧年中は、長寿会、婦人会、防犯ボランティアパトロール隊、各種同好会の皆様には、一方ならぬお世話になりました。また各専門部の皆様については、8月の夏祭り（子供神輿、盆踊り）、9月の防災訓練、10月の市民体育祭、11月の創立25周年記念行事等々大成功に終わり、皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。また新しい年を迎えなお一層自治会のお役にたつ決意です。

## 中村 地区長（2丁目）

明けましておめでとうございます。

旧年中は自治会イベントにおいて、自治会員、ボランティア、婦人会、長寿会、同好会の皆様による多大なるご支援、ご協力を賜りました。

お陰様で大過なく各種行事をおえることができました。厚く御礼申し上げます。

定年後、嘱託としての閑職をこなしながら、一度は地域の為にお役に立ちたい存念から、二丁目地区長（福祉部担当アドバイザー）をさせて頂いております。

あれもやりたい、これもやりたい思いから、任期も余すところ二ヵ月、やり残した課題の多さに思いを致しております。本年から団塊世代の定年が始まります。私達の終の住家である当団地も、少子高齢化の波は例外ではありません。買物、食事、ゴミ出し、病院等々、日常生活に支障をきたす方々を、行政に頼るだけでなく「地域でどう関わり、またサポートできるのか」真剣に考えるところにきております。積み残した課題、あとに続く役員にゆだねるところが大です。

私達の住む街、少しでも快適に暮らせるよう、微力ながら今後とも尽力して行きたい。

皆様にとりまして、健康で幸多き一年でありますよう祈念致しております。

## 山口 地区長（3丁目）

明けましておめでとうございます。

昨年は、理事さんはじめ班長さん、会員皆様方のご参加により、自治会の諸行事が盛大裡に成功したこと大変喜ばしく、有難うございました。

今年も、明るく楽しい自治会であります様、よろしく願い致します。

皆々様のご多幸を祈念致します。

## 小椋 地区長（4丁目）

明けましておめでとうございます。

みな様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## （2）「わたしの夢」

新年に因み、常務役員の方々から、桜台の「あるべき姿」に対する「夢」（こうあって欲しいとか、こうゆうのがあったら良いなとか日頃思っている事）をお聞きしましたので、以下にご紹介します。

## 藤原 会長

転勤で市原市に住み始めて40年、桜台に転居してからでも26年になる。

会社定年の時、郷里に帰ることも考えたが、空白が長く、子供が当地で生まれ育ち、

近郊に住んでいるので断念した。

今は、夫婦二人が桜台を終のすみかと決めて暮らしている。将来子供が戻るかどうか分らないが、目下、先祖の墓の移転を考慮中である。

そして未永く住む桜台が、いつまでも安全安心の住みよい町であり、楽しく語り、助け合える知人友人が、大勢いる町にしたいと願っている。

桜台も四半世紀が経過し、少子高齢化の町になりつつある。周りを眺めてみても、私と同じような考えで暮らしている高齢者予備軍の人が多い。

今後、町が繁栄していくためには、若い人達が住みたくするような自然豊かで、子育てに便利な桜台にしなければならない。

そのための目標として、次の3点を提案したい。

#### **子供達を見守り育成する町**

#### **ゴミのない花一杯の町**

#### **高齢者世帯の生活支援をする町**

に関しては、登下校を見守るスクールガード、学校行事への積極的参加、夏休みの朝のラジオ体操、昔遊びの指導等を通じて、子供達と交流を深め、健全育成に協力する。

そして、南小校区の近隣町会とも連携し、五月晴の深城池の上空に鯉のぼりを泳がせたい。

に関しては、市役所通りのように、桜台通りの街路樹周辺に花を咲かせたい。

花の好きなボランティアが集まり、苗を植え近所の人達をまじえて手入れする。また防犯パトロール時、ペットボトルに水を持参して、草花に水やりするのも楽しいと思う。

に関しては、高所の電球交換や、一寸した日常の雑作業で困っている人を手助けする。

どんなことを、誰が、どうするかは、今後の課題となるが、要は出来る人が、出来ない人を支援する。明日は我が身と思えば、今から体制を確立しておく必要がある。

4年前、たまたま推されて自治会役員となり、多くの人と出会い、交流する機会に恵まれた。

桜台には、全国各地からの出身者が住み、作曲家、古代史の先生、踊りの先生、書道の先生、ボーイスカウトの指導員、コンピューターのハードやソフトに強い人、広報誌編集が上手い人、等々私の知らない技能や経験の持主が大勢いる。

そして、何よりも**好奇心、向上心、行動力の3K**で、第2の人生を楽しみ、桜台をいい町にしようと考えている人がたくさんいる限り、将来は明るい。

### **笹野 副会長**

一昨年、輪番制により自治会役員の順番がやってきました。今までは班長役でしたが、家内が一人でその役目を果たしてくれていました。小生が現役で忙しいこともありましたが、今考えると自治会活動に対する思いが足らなかったようです（今になって反省）。今回

は、長年勤務した会社をリタイアした後で、バイトをする程度で時間的余裕が出来たので、理事を1期そして引き続き副会長を2期務めさせて頂いています。

この間、役員としてその任を果たすため、他の役員さんを初め多くの方々と一緒に活動することによって、互いに連帯感、信頼感を醸成出来たことを本当に有難く感謝しています。

自助・共助・公助の言葉がありますが、地域に於ける共助の力の源泉は“向こう三軒両隣の連帯感”に懸かっていると私は考えています。従って、まず“人の出会い”をどう作るかを問題とします。

わが町桜台でも、先輩方の四半世紀に亘る努力により、この絆は着実に実を結びつつあります。自治会活動にあっても多くの方が積極的に参加され、大抵の催し事は盛況です。またボランティア活動でも、防犯パトロール隊のように大勢のメンバーが揃って防犯活動をしています。婦人会も昼食会などを開き福祉活動を展開しています。長寿会も南小を訪問し子どもに遊びを教えています。また、公的団体のなかで福祉活動に精をだしておられる方もあります。さらに、同好会活動の中で、自分の特技や趣味を生かしながら、出合いを広げられる方々も多数です。町内にも色々な形の出会いがあります。

ご町内のみなさん！一人一芸、一事、一動、何でも結構、出合い一発。楽しみながら町づくりをしてみませんか。

#### <めざす町？素描>

桜台の朝は早い。夜明け前から深城池の周回路は、ジョギングをする人達が集まってくる。朝の挨拶を交わしながら、夫々のスタイルで歩いていく。しばらくして東の空がほのぼのと明るくなってくると、道端に数人ずつのグループが幾つかできて、太極拳やラジオ体操が始まる。バス停もその時間帯になると、ビジネスマンや学生さんたちで活気づく。どなたも一晩のうちに英気を取り戻し、いつものように新しい一日の活躍を誓い合う。

しかし、週末となるとまた風景が違う。子どもさんとあるいは奥様とゆっくりと町内や近隣の町々を散策しながら、自分たちの住む町を研究する。大抵の人は、近隣町内を含めて隅々まで知っていて、メダカはどここの川にいるからといって子どもたちを案内したり、ベンチの新設とか花壇の植え替えなどの作業には率先して参加し、みんなで楽しむ。自分たちの住む町に関心が高く、その長所・短所もよく判っているから、特に自然環境に係わる問題については、近隣町会との相互協力を積極的に推進している。

時計が7時を回ると、小学生が元気におしゃべりをしながら南小に向かう。道のあちこちには、子どもたちを見守るお母さんや爺ちゃん・婆ちゃんが立っていて何か声を掛けている。この町で一番大切にされる子どもたちとお年寄が、可愛い優しい目を見つめあいながら心を通わす風景は何とも微笑ましい。名前もお互いに知り合うお友達だ。

日が高く昇ると、昼間の町を守る人々が一斉に活動を始める。自治会館からはリズム体操や卓球に汗を流す人たちの快い声が、テニスコートからは大きな掛け声が聞こえる。

自治会は「生涯健康人の町」宣言をし、毎月の健康体操会や、夏休みのラジオ体操会、年に2度のピクニック会また健康相談会などを開催して、町民の健康作りに努めている。

近隣の農家とも係わりが深く、新鮮な野菜やお米を供給してもらっている。また、子どもたちもイモほりや、田植えに招待してもらい自然体験をしている。

ボランティアの人々も其々自分の持ち場で気持ち良く頑張っている。夏祭りなどは、祭り好きの者が祭組を作り主導的に開催している。またこの町には、色々な特技を持った人が大勢おられる。子ども読書会やパソコン教室が毎週開催されるなど、その力も次第に結集され地域力として生かされている。

ごく平凡な団地ではあるけれど、多くの緑に囲まれ、各戸の庭木や植え込みもよく手入れされ季節の花が綺麗に飾られた町並みは、落ち着いた安心感のある町風景を表している。そしてそこを、優しい心の人々が悠々としかもはつらつとした表情で行き交う。

### **武石 副会長**

桜台は姉崎の市街からも離れ、新興住宅地のため神社もなく県内各地で行われるような「お祭」がなく寂しい気がします。

私は「お祭」(特に三社祭)が大好きなため、祭シーズンになると県内各所に繰出し見学に行きます。・・・このため「わたしの夢」としては、桜台もしくは近郊(有秋地区)で、姉崎地区に負けない「お祭」ができればと思います。

その為には、「祭囃子」等の同好会が出来、子供達への伝承が随時行なわれ、桜台住民が一丸となって、祭事に力を注ぐことができればと思います。

### **小島 副会長**

現在、防犯パトロール・長寿会・盆踊り・麻雀会等に参加、新年から桜華会ゴルフに入会致します。出身地も異なり、多種職業を経験された面々との交友の中で、見聞も広まり、一企業の会社人間生活から脱皮する充実感を味わっています。皆さんも参加しませんか。

夢としては、還暦・古希野球チームを作り、小学生と遊びたい。“始めるのに遅すぎることなんかない”そうです。やってみませんか。

### **青木 副会長**

向こう三軒両隣をはじめ、各種ボランティアや趣味の仲間が互いに声を掛け、見守り、家族のごとく助け合い、それらを自治会がしっかりと支えて「みまもり電気ポット」のお世話にならなくても、桜台に住んでいるから安心と、離れて住む子や孫や身内に手放して喜んでもらえる街。

そして、そんな噂を耳にした子育て期の若い家族が、通勤には少し不便だけど、ここに住みたいと移り住んでくる、近未来の桜台の姿。

## 東城 地区長

生活環境部のアドバイザーとして

環境整備につくしてまいりたいと思います。

住み良い町づくりにお手伝いしてまいります。

一丁目4区のゴミステーションの整備を要望します。

## 小椋 地区長

平成19年 私の「夢」と「現実的な希望」

### 「夢」

- 1 小使いの値上げ
- 2 篠 ひろ子のような女将さんのいる居酒屋で、世間話でもしたいものです。(お涼さんだったかな?)

### 「現実的な希望」

- 1 「美化ボランティア」の募集。  
花植え・空き缶回収・ベンチ付近の草刈等を通してふれあいの仲間をつくる。
- 2 夏休みに、「ラジオ体操」を各丁目の公園で行う。  
子供とのふれあいの場と健康のため。
- 3 「ふれあいの集い」を本年も実施していただきたい。

## (3) 専門部の第3四半期活動状況

専門部の第3四半期活動状況を、各専門部の部長からご報告いただきましたので、下記の通りご紹介いたします。

### 体育部

#### 市民体育祭優勝!(初夢?)

今年度からは、学校が2学期制に移行したため、体育の日の開催とはなりませんでしたが、10月14日(土)晴天にも恵まれ、有秋西小学校を会場に第33回市民体育祭が盛大に行われました。桜台自治会からも沢山の皆さんに参加していただき、成績の方も全体で5位と好成績を納めることが出来、大いに楽しんでいただけたと思っています。

07年度の体育祭は有秋南小学校を会場に行われる予定です。地元の利を活かし、皆様の参加を得て、優勝が狙える年に成りそうです。

### 防犯部

防犯灯を、1丁目及び4丁目に新設致しました。

11月4日、桜台自治会創立25周年記念事業準備作業に参加致しました。

防犯講習会を、11月26日、自治会館2階ホールで実施致しました。  
年末防犯、防火パトロールを12月28日(木)、12月29日(金)に夜間パト  
ロールを実施の予定です。(雨天の場合は中止)



11月26日 自治会館2Fで実施された「防犯講習会」のスナップ写真

### 夏祭り委員会

- 10月 桜台25周年フェスティバル支援
- 12月 防災マニュアル製本支援
- 12月 夏祭り委員会「忘年会」実施

### 生活・環境部

1丁目8～11号ゴミステーションは、金網フェンスが設置されておりました。  
今回、予算の都合もあり、9号、10号のみ設置、残りは次年度に引継ぎます。また、こ  
れからの活動として、ゴミステーションに掲示したゴミ出しルール表の内、不良品につい  
ての交換、バス停灰皿の清掃等、継続して行っていきます。

### 福祉部

昨年11月4日に行われた、自治会創立25周年記念フェスティバル「ふれあいの日」  
の演技発表会の担当として、活動しました。当日は天候にも恵まれ、多くの来場者があり、  
発表会のほか、ビンゴゲーム大会も、とても盛り上がりました。

今後の福祉部の予定としては、3月までに、救命救急講習会を実施する予定です。

### 文化部

10月30日から11月4日までの6日間、桜台フェスティバルを開催いたしました。  
出展者の方々の素晴らしい作品の数々・・・これ無くして開催は出来なかったと思  
います。この場を借りて、文化部一同、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 防災部

- 10月12日 市に依頼していましたが、各丁目ごとの消火器・格納箱の整備が完了しました。それに併せて各丁目ごと自宅近くの消火器の設置場所と緊急時の使用についてのPRを行いました。
- 11月 4日 桜台フェスティバル「ふれあいの日」では、中央公園及び自治会館入口の交通整理・会場設営等を担当。無事「ふれあいの日」を側面からサポートすることができました。
- 12月 9日 防災部の今年度の活動の目玉である「防災マニュアル」製本・各戸配布  
～10日 作業を行いました。当日は班長さん・各役員の方40名以上のお手伝いをいただき、予想以上に手際よく午前中で1,260部の製本を完了。午後と翌日に掛けて各班長に各戸配布を実施していただきました。平成17年度から整備作業を開始し2年越しの活動でしたが、何とかやりあげる事ができました。今後、家族の皆さんで内容を確認していただき、万が一の災害時にまず自分が助かり（自助）そして地域で協力し助け合う（共助）ことのできる街づくりに繋がればと考えています。



12月9日 自治会館1Fで実施された「防災マニュアル」製本時のスナップ写真

## 広報部

- (1)「桜台だより」の発行・・・第2号を10月に発行。第3号「創立25周年記念特集号」を11月に発行。第4号「新年号」を1月に発行。
- (2)「桜台ニュース」の発行・・・第6号を10月に発行。
- (3)「自治会ホームページ」・・・10月にホームページの一般公開を実施。
- (4)「桜台フェスティバル」の支援実施・・・広報を担当。
- (5)ノートパソコンの購入および桜台自治会館のLANを整備いたしました。

## (4) 編集後記

- (1) 本誌を編集している過程で「さすが」とか「すごい」と感じた事柄3件。
- \* 常務役員の方々から、桜台の「あるべき姿」に対する「夢」をお聞きしましたが、皆さんがそれぞれ「夢」、換言すれば「目標」を持って、自治会の運用に当たっておられる事が分り、大変頼もしく、「さすがにすごい」と感じました。
  - \* 先日「防災マニュアル」製本のお手伝いをしていて感じたことです。当初2日間とのことでしたので、その覚悟をしていましたところ、なんと半日で終わってしまいました。防災部のリードが良かったこともあると思いますが、40名以上の方々が、主体的に考え、最も効率的な働きをした成果だと思いました。桜台の住民パワーを目の前にして「すごい」と感じました。また整備作業は2年越しとのことでしたが、あの立派なマニュアルを、担当役員・理事が全員代わっているにも拘わらず、立派に仕上げたことを知り、これも驚きでした。的確な引継ぎ、後任者の執行力が相俟っての成果と考え、これも「さすがにすごい」と感じました。
  - \* 藤原会長の年賀のご挨拶の中で「07年から「団塊の世代」のサラリーマン層が、一斉に定年を迎え云々とありましたので、桜台では、所謂「団塊の世代」(1947年～1949年の3年間に生まれた世代)に該当する人達が、実際に何名おられるのか調べてみました。なんと桜台全人口の10.8%に相当する405名(内男性185名)もの方々が該当しました。サラリーマン(給与所得者)といえは男性が殆どですが、これから3年間(平成19年～21年)で200名近くの方々が目出度く定年を迎えられ、悠々自適の生活に入られるわけです。会長が期待されるように、もし多士済々のこの方達が、その優れた能力と豊富な経験を、桜台発展のためにお貸しいただければ、これは「すごい」戦力であります。ご自身のまだまだ長い第2の人生を、より楽しく有意義なものにするためにも、是非「力」をお貸し下さい。
- なお参考までに、桜台の出生年度別「団塊の世代」の在住状況は下記の通りです。

右表は2006年12月 1日現在の実数で、市原市人口統計より抽出した。なお同時期の桜台の総人口は3,752名(内男性1,885名)

	男性	女性	合計
1947年生	73名	63名	136名
1948年生	56名	81名	137名
1949年生	56名	76名	132名
合計	185名	220名	405名

- (2) 本誌の編集に際しましては、常務役員の方々及び各専門部長の方々、ご多忙中にも拘わらず寄稿にご協力下さり、大変有難うございました。誌面を借りて御礼申し上げます。